

## ★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 近藤公久 副委員長 久保村千明・鈴木雅実  
幹事 乾 孝司・黒田 航 幹事補佐 富田英司・坪田 康

日時 1月29日(金) 9:00~17:30  
30日(土) 11:00~17:30

会場 明治大学(駿河台)アカデミーコモン8階308E教室(千代田区神田駿河台1-1, <http://www.meiji.ac.jp/museum/guidance/info.html>)

議題 芸術思考・デザイン思考, 及び思考と言語一般

29日午前 一般セッション1

1. 「言語にとって美とはなにか」に、如何に答えるか—ヘーゲル美学と吉本言語表現論を巡って—  
佐良木 昌(日大/ALR)
2. 物語性の効用について 新田義彦(日大)
3. レヴィナスによる倫理的關係と制限的正義 辻 和希(早大)
4. 語義とタイポグラフィの意味不一致効果—視覚世界パラダイムを用いた検討—  
○宮代こずゑ・小杉慎一郎・原田悦子(筑波大)
5. 事態把握の違いを用いた語学学習法 佐野 洋(東京外国語大)
6. コト節とトイウコト節の表すもの—事態・事実・情報状態— 田村早苗(北星学園大)

29日午後 ことば工学セッション1(13:00~17:30)

30日午前 ことば工学セッション2(9:10~10:50)

一般セッション2(11:00~)

1. 日本人英語学習者の統語処理の困難性が文章理解に及ぼす影響—語彙性判断課題による検討—  
○榊原啓子・横川博一(神戸大)
2. リチャード・ライトの俳句分析(1)—色の象徴について— 中村秩祥子(龍谷大)
- 30日午後 テーマセッション(13:15~)
3. 身体知の言語化とその階層モデル  
○山田雅敏(常葉大)・里 大輔(浜松大)・坂本勝信(常葉大)・小山ゆう(浜松大)・砂子岳彦(常葉大)・竹内勇剛(静岡大)
4. 実践知獲得システムPIACSにおける思考について 沢 恒雄(游工研)
5. 因子分析による多重知能分析アンケートの開発  
○阪井和男(明大)・有賀三夏(東北芸工大)・戸田博人(富士通ラーニングメディア)・大島伸矢(プライム・ラボ)
6. [パネル討論] オーガナイズドセッション: 芸術思考とデザイン思考  
○有賀三夏(東北芸工大)・村山真理(東京農工大)・秋山ゆかり(Leonessa)・戸田博人(熊本大)・阿部明典(千葉大)・原田康也(早大)・阪井和男(明大)

◆人工知能学会; ことば工学研究会併催. 明治大学サービス創新研究所・芸術思考研究会, NPO 法人学習分析学会, 次世代大学教育研究会, 情報コミュニケーション学会共催